

ブナ便りNO18

ブナの補植と支柱の取り替え作業

場所 大山横手道上で

森林管理署と 6 月 1 日「大山ふれあいの森」作りの協定を結び、活動許可が出ました。先ず、昨年植えた所で雪害を受けたブナの補植と諸々の整備を行います

- 開催日 6 月 21 日(土)～28 日(土)まで 小雨決行
- 集合場所 午前 8 時 30 分 伯耆町ガーデンプレイス
作業時間 12:00 を目安に終了
作業終了後は自由行動
希望者には 軽い森林浴を計画しています
- 持ち物 作業の出来る服装(厚手の長袖とズボン 運動靴か長靴 手袋は支給)
- 申込みについて

この作業は何もお膳立てが出来ている作業ではありませんので、
効率の悪い作業になること覚悟です。

出来るだけ事前に連絡をいただければ多少違いますので(道具の準備)

よろしくお願いします。

- 申込み先 問合せ先 事務局

〒683-0103 米子市富益町 1091「ブナを育成する会」吉岡淳一

TEL/Fax 0859-28-8590 E-mail bunanoko@sanmedia.or.jp



秋の植樹祭は11月9日を予定 準備作業は 9月から開始

昨年の上側
ブナ 200 本
ミズナラ 20 本



5 月 18 日：上部ブナの新緑



11 月 17 日：上は雪



ブナ便りNO19

年 月 日

ブナを育成する会

事務局：吉岡淳一

TEL/Fax 0859-28-8590

こんなこともしています

5月30日 各新聞の一面

環境省の発表・・・地球温暖化の国内への影響・・・・白神のブナ林消滅も

6月1日 森林管理署と「大山ふれあいの森」の協定書を結びました。

6月1日 会員の近藤さん大山剣谷で月の輪熊のねぐら発見（写真あり）

6月7日 丸山地蔵滝が平成の名水100選に選ばれました。

顧問の小西護郎さんが中心でやられていましたので、3月にブナからも5人が出て掃除しました。提出資料に角田さん、近藤さん写した写真を添付しました（下のもの）

「名水」・・・本当に美味しいか・・・？

この水・・・うまい水、体によい水

6月15日 顧問の小西護郎 全国植樹祭で緑化功労賞で表彰

6月20日 全水道中四国の研修会（40人）

植林地とぶなの森

案内役：ブナを育成する会4人

7月29日 全水道 山陰（40人） 植林地の草刈りとギャップ作り

桧水原キャンプ場、添え木の開放。 桜の保護作業・・・時間を見つけて・・・許可



草取り・・・昨年と比較になりません
会員も勿論行っていますが、プロの草取りはすごいです。肥料も消毒もしております。



こんなに元気
草取り2回実施・肥料巻き



第一農場への道 350mの草刈りと枝払い

2020年 6月24日

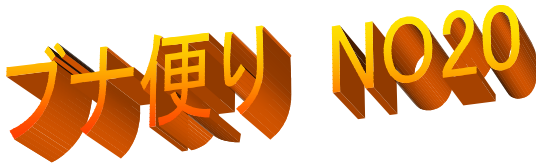
ブナを育成する会

事務局：吉岡淳一

TEL/Fax 0859-28-8590

携帯：090-5260-6671

E-mail: bunanoko@sanmedeia.or.jp



「大山ふれあいの森」協定書を結んでの最初の仕事」他

ブナを育成する会では6月22日から28日までの予定で、昨年植えたブナの幼木200本の整備などの作業を開始した。22日は、今年の冬の雪で折れたもの26本の補植と支柱の折れたものの取替えを行った。

幼木は1.5mから2mまで育てたものを雨の降る中でツルハシと金テコを使用しての重労働だったが、木にとっては最高の天気でした。

その後、今春大山一帯でのオオヤマザクラの調査で見つけた胸周り、2.8mの大山一のオオヤマザクラのカズラを除去する保護作業も行った。

ブナの補植作業を終えて、会員の清水豊（73）さんは「雪解のころから気になっていたが、ようやく手入れが出来て、心身を育てくれた大山への恩返しが出来た喜びを感じています。」と話していた。会では28日まで横手道上の作業を続ける。



支柱の取替え



鳥取からは奥村、前田
の 2 人が参加されま
した

左から
松之舎、石原、坂東、渡部、黒
見、清水、奥村
他に前田、吉岡がいます

6 月 27、28 日の 2 日で 10 人（初参加 2 人）の参加で

7 月 29 日全水道の草刈り作業の事前準備、ブナ、ミズナラ 400 本位に刈り込まれないような標識を付けた